

「製品別原価管理」導入支援

どの製品が利益を生み出し、 どの製品が会社収益の足をひっぱっているのか

■ 製品別原価管理の意義

一般的に仕掛品評価を目的として行われる原価計算だが、「原価管理」の側面では・・・

- 販売価格を決定 ⇒ 販売価格の決定あるいは新製品の製造受注判断の場面で、製品の収益性を把握できていないと、いくら売っても利益が出ない恐れがある
- 原価低減を推進 ⇒ 原価構成やムダな費用が掴めず、具体的な原価低減策を立案できない
- 経営計画を策定 ⇒ 販売拡大を狙う製品や縮小すべき事業など、経営の意思決定が下せない



■ しかし、製品別原価の把握は難しい。。。何故なのか？

- ◆ 製造原価の計算が複雑
- ◆ 製品ごとに発生費用を紐付けることがしにくい
- ◆ 製造・生産管理の知識と会計の知識の両方が必要
- ◆ 決められたルールはなく、会社規模・製品種類・生産形態などにより原価計算のやり方が異なる（十分に検討し適切と思われる方法を決める必要がある）など

■ TASC の導入支援サービスを利用してみませんか？

- 「製品別原価管理」の導入支援により製品別原価がわかるようになる
 - ✓ 製造・生産の実状を現地現物で確認
 - ✓ 費用発生メカニズムを把握し、財務情報とその他管理のための各種情報を用いどのような原価計算が適切で実現可能か検討し、ご提案
 - ✓ 実際のデータに基づいて製品別原価の集計を実施
 - ✓ エラーがないか、また継続運用が可能かを検証し、仕組み（定常業務）として導入



サービスフロー

① 現状調査
(2~4週間)

② 課題まとめ
(1週間)

③ 仕組み導入
の提案
(2~4週間)

④ 製品別原価
集計トライ
(12~24週間)

⑤ 仕組み導入
(12~24週間)

お気軽にご連絡ください ▶▶▶

株式会社トヨタアカウントサービス (TASC)
 原価グループ グループ長
 松永 卓也
 Mobile: 090-4446-6455
 E-mail: tmatsunaga@tasc2000.co.jp

〒450-0002
 名古屋市中村区名駅三丁目 25 番 9 号
 堀内ビル 9 階
 TEL: 052-581-7770 (代表)
 FAX: 052-581-7780

